

2024・4

シルバー

## 青梅

(公社) 青梅市シルバー人材センター  
 電話 0428(24)8171  
 FAX 0428(22)7948  
 青梅市千ヶ瀬町1丁目50番地  
 E-mail ome@sjc.ne.jp  
 URL https://webc.sjc.ne.jp/ome/



青梅市シルバー人材センター 会長 内田 治

## 新年度にあたって

会員の皆様には、日頃、当シルバー人材センターに対しまして、ご理解とご尽力を頂き、誠に有難うございます。

四月になって暖かくなり、穏やかな春の訪れを感じると共に、桜やチューリップなどの花々が鮮やかな彩りの姿を見せ、新年度が始まりました。

昨年6月の総会を経て、会長として就任してからもう少しで一年となります。この間、各地域の地域総会や地域班会議に、出席をさせていただきました。会員の皆様との意見交換等を通じて、シルバー会員がいきいきと就業している様子や働けることへの感謝の言葉を見聞きすることで、改めてシルバー人材センターの担う役割は重要であると実感しているところです。

さて、令和5年度から9年度までを計画期間とする「第4次中期計画シルバープラン青梅」に基づき、様々な取組を展開しています。昨年8月に本計画を着実に推進できるよう第4次中期計画推進委員会を立ち上げ、検討を進めております。特に、昨年度は、女性の就業先の確保・充実に向けた検討を深め、これまで男性会員が就業していた地域サロンに女性が就業できるような体制を構築しました。その結果、4月から新たに8名の女性の方に地域サロンへ就業していただくこととなりました。小さな一歩ではございますが、今後も少しずつ前に歩みを進めてまいります。

また、今年度は東原プールの売店においても、営業再開に向けて、準備を進めています。厨房へのエアコンの導入や白衣等の貸与により、働きやすい環境となるよう事業部会で検討していますので、皆様のお力添えをお願いいたします。

今年度も、会員の皆様の親切・丁寧な仕事を通じて、地域住民の生活がより良いものとなるよう全力で取組むと共に、就業で我々自身も生きがいとパワーをもらい、地域に愛されるシルバー人材センターを創っていきましょう。

## 全国シルバー人材センター事業協会「安全就業ニュース」を見て

高齢者の転倒は、骨折、頭部外傷など、介護が必要になる原因の4番目です。認知症、脳血管疾患、高齢による衰弱に次ぐ要因で、事故では最も大きな要因です。高齢者が転落・転倒しやすい要因は、体の感覚の衰え「身体的な要因」と、環境にかかわる「環境的な要因」の2つがあります。

◎「身体的な要因」としては加齢に伴う筋力の衰え、老眼や白内障などの視力低下、周囲の生活状況が把握できなくなったことです。また、姿勢を保持する平衡感覚の低下により躓きやすくなる、歩行速度が落ちて歩幅が狭くなり転倒・転落に繋がり、更に薬の副作用によるふらつき・めまいなどが怪我に繋がることも少なくありません。

◎「環境的な要因」としては「段差がある場所」「片付いていない場所」「暗い場所」「濡れている場所」等が多いとリスクは高まります。「仕事を急ごう」とすると焦りから転びやすくなります。

就業中、就業途上にかかわらず、「環境整備」「体調の把握」「体力維持の運動」といった対策をとることで、事故はかなり防げるので実行するようにと記されています。一人ひとりの心がけひとつが事故防止への取組となり、やがてはゼロ災害就業達成へ繋げていきましょう。



## 女性による『地域サロン』管理がスタート

昨年の夏から暑さをしのぐ「涼しみ処」として、市の一部施設が期間限定で解放されました。同時に高齢者を対象に地域で気軽に集まり、友達づくりの場としても利用できる「地域サロン」も「涼しみ処」の役割を担い皆さんに活用されました。従来から「地域サロン」の管理業務はシルバー会員が就業しております。開設日は各会館の開錠から始まり受付準備、イベント開催時の補助、利用者の見守り、そして娯楽用具利用の管理やクリーンアップなどで閉館時の施錠までが主な就業内容です。

「シルバープラン青梅」で令和5年から9年度の中期計画に於ける「就業機会の確保と課題」に掲げられた女性会員の就業機会の確保を目指し、先ずはこれまで男性としてきた職場について、就業可能であれば見直しを図り、女性も就業できるよう就業機会を増やせないかと委員会を重ね検討してきた結果、具体的に既存の就業で代わり得ることができる就業の検討を始め、机上と現場からの意見を基に第一歩を踏み出そう、チャレンジしようと動き始めました。

1～2月に派遣就業希望者を募り、4地区合計女性8名の就業者が決定し、2～3月に実践しながら引継ぎを経て4月から新たに女性による地域サロン管理の仕事がスタートします。

小幅ではありますが始めの第一歩が踏み、これを機に引き続き女性会員の就業機会の確保ができ、更に拡大に繋がることを願っております。

4月から就業が始まりました。仲間が増えるのを楽しみにしています。

## 感謝・感激 『御礼の手紙』

シルバー人材センターの就業において、駅のトイレ清掃を行っています。ある匿名の利用者の方から市を通じて御礼の手紙が届きました。手紙はとてもあたたかい内容で、こうした御礼の手紙は我々シルバー会員にとっても、大変励みになるものです。今回頂いた手紙の概要を紹介いたします。

**「私は一ヶ月に一度、お墓まいりへ行く際に、とある駅のトイレをお借りいたします。きれいに掃除されており、外出が多いため他のトイレもお世話になりますが、こちらのトイレはとてもきれいです。お掃除をされている方もかなり几帳面な方と思います。お掃除されている方によろしくお伝えください。」**



～～手紙をもらった就業場所で就業している会員の方に聞きました～～  
～～喜びの声を合わせて、お届けします！～～



手紙をもらった就業場所で働いている会員の皆さんに、2つの質問をしてアンケートに答えてもらいました。今月号と来月号にかけて喜びの声ををご紹介します。

問1 御礼の手紙をもらって、どのように感じましたか？

問2 清掃の就業をしている際に、気を付けていることや心がけていることはありますか？

M. Fさん

問1 この度は、ご利用者様よりお手紙を頂き、ご評価をいただいた事、大変うれしく思います。トイレがきれいで気持ちが良いといわれますように、これからも頑張ります。

問2 いつもと同じ特段これと言って特殊な事はしておりませんが、皆様に安全・安心してご使用いただけるように心掛け、『ま・ご・こ・ろ清掃』を行っています。パートナーと信頼のもと二人三脚で作業を進めています。

M. Tさん

問1 私共の仕事は目立つ様な作業でなく、使い易く、また、気持ちよく使用してもらうために働いているのです。その中で、人は見てくれているのだと、ありがたく感じています。

問2 現場に行くと、トイレが汚れていたり、トイレットペーパー等が水に濡れて破って捨ててあったりもします。その日は一寸気持ちが落ちますが、きれいに使用されているとほっとします。大勢の人々に出逢い、この年齢になって社会のつながりが出来る事に元気付けられます。

※今回、スペースの関係で掲載できなかった方は、来月号に掲載予定です。

### 接遇研修会が開催されました

2月29日・3月1日・3月4日、福祉センターにおいて、講師に栢野奈保美（かやのなほみ）先生をお迎えして『接遇研修会』が行なわれました。

接遇とは、広辞苑で「もてなし・接待・あしらい」を意味し、お客様に対しておもてなしの心で失礼のない接し方を習得することは、接客の基本ではありますが、大切な心構えです。

受講者からは、「研修に参加して、初心に戻って就業しようと思った。」「コミュニケーションを取る時、笑顔の大切さを改めて学びました。」等のたくさんの方の大きな感想がありました。会員の皆さんも、就業の際は、相手の立場に立った気配りや接客というものを改めて実践していきましょう。



### 第一印象の影響力は、何が大きい？

視覚（全体の55%）

◎身だしなみ、表情、態度、姿勢

聴覚（全体の38%）

◎声の大きさ、スピード、トーン

話の内容そのもの（全体の7%）

◎内容そのものよりも、視覚や聴覚からの情報が重要

### ＝おもてなしの心＝

ある方が、妻を亡くして供養の旅で四国に行きました。その旅の道中に飲食店へ入ると、ビールとグラスを2つ店員へ注文しました。店員は、一人で来たお客さんなのにと不思議に思いながら、ビールとグラス2つを言われたとおりに提供しました。

その後、そのお客さんは奥さんと思われる方の写真をテーブルに置いて、2つのグラスにビールを注いで乾杯していました。

四国ということもありピンときた店員は、このお客さんは供養の旅をされているのだと理解しました。その後、そのお客さんが新たに食事を注文した際に、特に何も言われてはないが、箸とお皿も2人分をテーブルへお持ちしました。この客は、最初のグラス2つの注文だけで、全てを察して店員が箸とお皿も2人分を持ってきてくれたその「心遣い」に、大変感銘を受けました。

帰りの旅路では、涙が止まらなかったそうです。

（講師より紹介）

ヤマハ MT-10/SP 1,000cc



キャンプ能登島（石川県）



### 『好きな時間の過ごし方』 ツーリング

新町地区 樽見 潔

私の趣味はいろいろありますが、バイクでひなびた観光地へ行くこと。日常を離れ一人でのんびりバイクを走らせる。気に入ったキャンプ場でテントを設営し、近くで買った弁当とつまみ、そしてビール。時間を忘れ夜空いっぱい星を眺めて過ごす。最高です。雨は最悪。それでも何だか楽しい。

私は三十六歳の時、何故だか無性にバイクに乗りたいたいと思い、中型二輪の免許を取得。初めてバイクに乗り、奥多摩へ向かう。季節は五月。バイクで走るとその風は心地良く、それ以来すっかり虜になってしまった。

五十歳になった時、憧れの大型二輪免許を取得。初めて大型バイクに乗った。そのパワーは半端じゃない。高速道路でアクセルを開ける。後続車がみるみる小さくなっていく。すっかり魅了されてしまった。

いつだったか冬の寒い日に単独事故。全治三か月……。やっと治って以前から行きたかった北海道、四国などテントを積み走った。三年ほど前、体力的に無理と悟った。これからは身の丈に合ったバイクでゆっくりツーリングを楽しみたい。

**2月の事業実施状況報告**

登録会員数	1,087人
前年同月比	9人減
就業実人員	625人
前年同月比	37人減
就業率	57.5%
前年同月比	2.9%減
受託件数	249件
前年同月比	9件減
契約金額	30,402千円
前年度対比	866千円増
受注 公・民間事業比	60.6%/39.4%

☆☆各種相談日☆☆

5月の相談日は、10日、24日の第2・4金曜日です。  
 午前10時～午後3時  
 就業の上でお困りのこと等、お気軽にご相談下さい。  
 ～令和5年度の相談状況について～  
 令和5年度の相談は合計で13件でした。  
 内訳は、求職関係が3件、就業上の相談が7件、その他の相談が3件でした。

**第14回理事会から**

令和5年度第14回理事会は3月21日(木)に開催されました。

1) 議 事

- ・第1号議案 会員の入会申込者の決定について  
入会申込者8人(男性5人、女性3人)
- ・第2号議案 職員就業規則の一部改正について
- ・第3号議案 準職員就業規則の一部改正について
- ・第4号議案 職員給与規程の一部改正について
- ・第5号議案 退職金支給規程の一部改正について
- ・第6号議案 費用弁償等支給規程の一部改正について
- ・第7号議案 旅費規程の一部改正について
- ・第8号議案 令和6年度事業計画について
- ・第9号議案 令和6年度収支予算について
- ・第10号議案 資金調達および設備投資の見込みについて
- ・第11号議案 令和6年度理事等の就業の状況について

2) 協議事項

ア 令和6年度安全就業実施計画について

3) 報告事項

- ア 令和5年度理事等の就業の状況について
- イ 2月分事業実施状況報告  
2月末会員数1,087人(男性871人、女性216人)
- ウ 第6回安全就業職場巡回 2月22日
- エ 第4回事業部会 2月27日
- オ 第11回広報部会 2月28日
- カ 接遇研修会 2月29日、3月1日、4日 福祉センター集会室
- キ 就業者面接 3月7日
- ク 第6回安全管理委員会・支援員合同会議 3月8日
- ケ 財団会長会議 3月11日 東京しごとセンター多摩
- コ 地域班長全体会議 3月15日 福祉センター集会室
- サ 6B事務局長会議 3月19日 武蔵村山市SC
- シ 事故報告について

審議案件は承認され、最後に今後の予定が報告され閉会しました。

**令和6年度就業支援講習  
【6月実施講習】**

1. 毛筆筆耕(宛名書き)
2. 植木の剪定 技術アップ講習

**締切 4月25日(木)**

**15時厳守**

※講習会場は市外です。  
 応募の際はご注意ください。

申込み ☎ 24-8171

**新入会・退会者紹介(敬称略)**

※入会・退会者名は  
 公開していません。

**4月分の就業報告書提出締切日は5月7日(火)  
 配分金支払日(口座振替日)は5月31日(金)です**